

令和4年度 田無すくすく保育園 事業報告書

1 令和4年度の概要

今年度から地域のニーズに応えられるよう、弾力化により幼児クラスの定員数を増やした。

昨年度に引き続き、コロナ禍での保育となったが最大限の感染症対策を行い、感染状況に合わせて日常の保育や行事について見直し、充実できるよう工夫した。

世の中の感染症への動き・対応の変化に応じて、保護者からの保育や行事に対する要望が増えた。

園の実情や意向を積極的に知ってもらい、協力や制限に納得してもらえるように努めた。

地域との交流や姉妹園との連携をより強めたかったが、感染症の状況により難しかった。

基準より多くの職員を配置しているため、ゆとりある保育を行うことができ、事務時間の確保もできているので働きやすい職場環境の継続が出来ている。

2 振り返り

(1) 保育目標の実践

- ・保育士ひとりひとりが保育目標を定め、達成に向け継続して努力することができた。
- ・長引くコロナ禍の中、日常の感染対策を引き続き徹底して行った。
行事、園外活動の形態の変更を行ないながら豊かな経験ができる機会を取り入れた。
- ・子どもが主体的に経験を積めるように保育・行事を見直し、常に改善する姿勢を持てた。

(2) 保護者支援

- ・事業計画に従い支援を行った。行事ごとにアンケートを取り、また運営委員会、第三者評価を受けて保護者の意見を率直に受け止め真摯に対応することができた。
- ・困難をかかえる家庭には積極的に関わりを持ち、個別での面談の機会を多く作りすることで保護者と思いや園での様子を共有することができた。必要と思われる関係機関と連携を取ってケースに合わせたきめ細かい支援を継続することができた。

(3) 地域の子育て支援

- ・在園児の感染予防を最優先としたため外部との接触を極力避け特別な子育て支援は行なわなかった。

(4) 職員構成

各クラスには経験・年齢を考慮したバランスの良い保育士を配置し、また、各クラス正規職員が複数いる配置にしたため、余裕をもってクラスを運営することができた。

3 児童利用状況

月極利用児童受託状況

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
定員	6人	15人	15人	21人	21人	21人	99人
4月利用者	6人	15人	15人	21人	21人	20人	98人
10月利用者	6人	15人	15人	21人	21人	20人	98人

保育園開園時間

標準時間基本保育時間	7:00~18:00
標準時間延長保育時間	18:00~20:00
短時間基本保育時間	8:30~16:30
短時間延長保育時間	上記以外を超えた時間

5 【職員構成】

常勤職員 19名				パート職員 21名			
施設長	1名						
保育士	15名			保育士	10名		
				保育補助	3名		
看護師	1名						
栄養士	1名						
調理師	1名			調理員	6名		
				事務員	1名		
				嘱託医	1名		

6 運営報告

(1) 会議内容

①施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会議	15日	20日	17日	22日	26日	30日	15日	25日	16日	20日	24日	18日
リーダー一会議	21日	16日	24日		1日	7日 9日	6日	14日	9日	12日	10日	9日
幼児		19日	21日	12日		14日		22日	20日	10日	14日	1日
乳児	7日		2日					16日	16日	20日	8日	
給食	26日	24日	2日 28日	26日	30日	27日	25日	25日 29日	27日	24日	22日	28日
運営委員							28日					3日

②施設外会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園長		18日	14日	27日		15日	5日	17日	15日		1日	
看護師	27	26	24		30		18	28			24	
栄養士			9日							12日		

- ・ブロック会議 7月4日、9月12日
- ・医師会との懇談会 10月19日

〈2〉係内容

衛生管理者	日々の点検を中心にマニュアルに基づき園内の衛生に努めた
食品衛生管理者	マニュアルに従いアレルギー対応や衛生の徹底に努めた
防火管理者	消防設備点検報告書を消防車へ届けた・BCPの作成
研修委員	園内研修の企画立案を行った（別紙参照）
親睦会	職員のコミュニケーションを深める会

7 保育計画

〈1〉子どもの保育目標

依然として新型コロナウイルスが流行しており、そのような状況の中でも「こころもからだもげんきなこども」を保育目標として、心身ともに健やかに成長出来るよう、年齢ごとの指導計画を見直しながら保育を行った

〈2〉年間行事報告

新型コロナウイルスの状況に合わせて柔軟に見直しを行い、感染症対策をしっかりと行いながらも新しい形で行事を充実させていけるよう計画した。

保護者からのアンケートも参考にして反省や要望を活かして行うことができた。

・主な行事

- ふれあいデー 乳児クラスの親子イベント、保護者2名の参加に変更
- 夕涼み会 クラスごと入替、保護者2名の参加で行う
- 運動会 3歳児クラスの回、4・5歳児クラスの回に分けて向台公園で開催。保護者2名。
- 発表会 2歳児からクラスごと保護者2名での開催。0,1歳児クラスはDVDの配布を行う。
- 卒園式 保護者2名まででホールにて行う

クリスマス会は外部から「MAMACANON」を呼んでコンサートを開催

子どもだけが参加する行事については乳児クラスは各クラス、幼児クラスは3クラス合同で行う
新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、また対策を講じながら人数制限の緩和等を行った。

〈3〉食育実施報告

(1) 野菜の栽培・収穫・試食

園全体で野菜を植えて観察し、各クラスで試食する機会を持った。

春と秋に近隣農家に芋ほりに行き、4・5歳児クラスは事前に成長を観察した上での収穫体験をすることができた。

(2) 調理保育

今年度は3歳児クラスから定期的に調理保育を行うことができた。回を重ねて行えたので年長クラスはデイキャンプでは掘ってきた薩摩芋でのスイートポテトづくり、カレー作りとたくさんの調理保育を行うことができた。月見団子づくり等、季節の行事を感じられる調理保育も行う。

(3) きりんぐみから食事や食べ物についての食育指導を定期的に行う。また栄養士から月の献立に入っている日本の郷土料理の紹介も行って食への興味を深めることができた。

来年度もさらに回数や内容を見直して充実させていきたい。

《令和4年度 食育指導内容》

- ・3歳児クラス：野菜の苗植え、食事のマナーについて、野菜ちぎり
- ・4歳児クラス：野菜の苗植え、箸の使い方について、野菜について、玉ねぎの皮剥き、大根の皮むき
- ・5歳児クラス：野菜の苗植え、郷土料理について、月見団子づくり、茄子のカット、カレー作り、旬について、三食食品群について、

〈4〉保健実施報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
乳児	19日	10日	7日	18日	18日	27日	19日	25日	14日	24日	16日	9日
内科	19日					27日						
歯科		25日						29日				
眼科				6日								
歯科衛生				8日								
職員検便	13日	18日	8日	13日	10日	7日	12日	16日	7日	18日	8日	8日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
アキシデント	7件	8件	10件	5件	10件	11件	7件	6件	8件	6件	10件	9件
受診件数	1件	0件	2件	1件	0件	1件	0件	0件	3件	1件	1件	3件

- ・トイレの使い方・プライベートゾーンの保健指導を取り入れた。

（保健実施報告）

※受診件数が昨年よりも減った。

転倒により口を負傷しての受診が一番多い。今年度も肘内障がいでの受診が2件あった。

打撲・転倒・噛みつきによるアクシデントが多く、保育環境を見直し、インシデントを意識的に出していき事小さな怪我を減らして安全な保育を目指す。

〈5〉各種点検報告

危機管理 各担当が安全点検・事故防止・SIDSチェックを行った

衛生管理 各担当が衛生管理・個人衛生管理・検便細菌検査チェックを行った

健康管理 保健関係・身体測定・健康診断実施済み

運営管理 自己評価済み

〈6〉環境整備

各種マニュアルに従い環境整備に努めた。

8 危機管理

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
避難訓練	28日	30日	31日	27日	19日	1日	6日	22日	27日	27日	27日	28日
光化学スモック	学校情報をもとに発令された際には、玄関先にお知らせを出して保護者に周知した											
危機管理	安全点検チェック								毎月 事務が担当			
	SIDS チェック								毎月 各クラス担当			
	事故防止チェック								毎日 各クラス担当			
健康管理	保健関係確認(既往歴・保険証)								年2回 看護師			
	身体測定								毎月 各クラス			
	児童各種健康診断								上記参照			

〈防犯〉職員会議にて毎月、危険個所、さすまた、学校110番システムの確認を行う

※Jアラート発令時の訓練を避難訓練に入れ、マニュアルも整備した

9 ボランティア・実習生の受け入れ

〈ボランティア〉 新型コロナウイルス感染拡大予防のため受け入れ中止

〈職場体験〉 新型コロナウイルス感染拡大予防のため辞退

〈実習生〉 申し込みがなく受け入れしなかった

〈保育体験〉 保育学生から保育体験の希望有、受け入れる

感染状況を見て、再開していきたい。

10 職員育成と研修報告

〈研修内容〉

- ① 園内研修
- | | | |
|-------|-----------------------------------|----------|
| 6/10 | エピペンの使い方、緊急時の対応について | 講師：塚本看護師 |
| 6/16 | 月案、週案、保育日誌の書き方について | |
| 7/22 | 絵本やリトミック等の専門知識 | |
| 8/26 | 西東京市保育の質のガイドライン読み合わせ | |
| 9/30 | 保護者対応、支援について事例を挙げて研修 | |
| 10/29 | フラダンスの基本となる動きについて | |
| 11/25 | GAの仕事とコミュニケーションについて | |
| 12/16 | 簡単な手話 | |
| 1/21 | 「みんなの学校」を観て | |
| 2/24 | 保護者対応についてロールプレイ | |
| 3/18 | アクシデント集計と各クラスからの多かった怪我やその後の対応について | |
- ② 外部研修
- 正規職員が合計 40 件ほどの外部研修に参加した
キャリアアップ研修も含め、平均して各保育士が研修に参加することができた。
オンラインの研修にも対応して受講している。

11 地域交流報告

新型コロナウイルス感染拡大予防のため積極的な交流を行うことはできなかった。

ハロウィンには近隣を回り挨拶に行く。園の訪問を楽しみにしていて、お返しを用意して待っていてくれる家庭もあった。

来年度以降、新型コロナウイルスの状況に合わせて地域との交流を増やし、地域に根ざした保育園となれるよう計画していきたい。

12 小学校との連携

新型コロナウイルス感染症により今年度は学校訪問等が出来なかった。来年度以降の課題としている。年長児が各小学校にスムーズに移行できるよう児童要録・就学支援シートを各小学校へ提出した。

13 要支援児童への対応

- ・定期的にひいらぎの巡回指導を依頼し、気になる子どもへの対応について継続した支援を行うことができた。
- ・職員会議時にケース会議を開き情報共有を行った。
- ・家庭で支援を必要と思われる保護者にはすぐに面談を行い、家庭支援センターと連絡を取り合って相談を受けたり、支援を紹介して見守っている。

14 来年度に向けて

- ・保育士一人ひとりが園を作っていくという意識のもと、会議等で話し合いを重ね職員の意識を高めていく。
- ・新型コロナウイルスの状況を的確に把握し、感染症対策を行いながらこれからの保育に何が必要かを職員、経営者と共に見直し、出来る限り子どもたちが豊かに生活できる保育への取り組みを考えていく。
- ・保護者と誠実に向き合い、保育方針や意向を丁寧に説明して理解、協力を得て信頼感性を築いていく。
- ・地域との関わりや小学校との連携を強め、地域の中での保育園としての働きを充実させていく。
- ・姉妹園との連携をより強め、職員同士の交流も図ってより働きやすい職場を目指す。